



情報誌

FAR

43 号

事務局：公益社団法人 日本放射線技術学会事務局内

〒600-8107 京都市下京区五条通新町東入東鋸屋町 167 ビューフォート五条烏丸 3F

TEL:075-354-8989. FAX:075-352-2556/http://www.jsrt.or.jp. Email:office@jsrt.or.jp

《ごあいさつ》

FAR 会の伝承と発展について思うこと

副会長 四宮恵次



情報誌 41 号の巻頭言は体調不良のため川上副会長に替って頂いたが、この度、再度執筆を要請された。私は妻を 1 月に失い、平成 9 年に発足した JIRA BS 会も 17 年目に高齢化などの環境変化に対応できず、3 月をもって幕を引くことになったこと、更に 4 月には「肺炎」のため緊急入院したことなどであり、2 ヶ月半程の入院生活を含めて特に感じたことは親しき友との会話が途絶えたことであった。

“親友とはどんな友か？”と問われたら、私は「何時でも共有の話題で話せる友」がその条件の一つと考えている。例えば、同じ土俵、環境の中で過ごした仲間であり、典型的には、小学校時代の同級生であろう。75 年も経った今でも“俺、お前”に戻ってくれるからである。しかしその友も今では 10 指が余る程となってしまった。しかし何よりも淋しいのは「妻との対話が途絶えてしまった」ことである。

FAR 会独特の伝承、それは夫々異なった年代、環境、経験に対応して来た新しい血、即ち新入会員の加入であり、それ次第で会の盛衰が支配されることが決るとも言い得る。春秋の学術大会や、分科会、理事会、委員会ならびにそれらの懇親会や反省会、二次会などの流れ流れの交流経験は、その折々の話題に対して議論し、特に同じ屋根の下での交流（宿泊）は、公私に拘らぬ固有の経験となったことは事実であろう。繰り返すが、これらの友は、歳を取って足腰が不自由になっても PC や携帯で終生の友として対話の出来る利点を忘れてはならない。

なお FAR 会規約第 5 条（会員の扱いと義務）には、「この会の会員は、年齢、性別、経歴など、過去・現在の如何なる事項に関係なく、同等の扱いを受ける」とあり、情熱のある方は、どなたでも世話人として自薦し、活躍して頂きたいと願っている。

繰り返すが、会の盛衰は「会員を如何に増やすか」にある。現会員の一人一人が、未入会の友人、後輩に声をかけ、裾野の広い年代構成の強い FAR 会を構築することによって、他に類を見ない終生の友の集団として成長して行くものと願っている。



内 容

- | | |
|--------------------------------|-----------|
| 1. ごあいさつ | 副会長 四宮恵次 |
| 2. 秋季大会へのお誘い | 大会長 市川勝弘 |
| 3. 会員動向 | |
| 4. 会からのお知らせ | |
| 5. JSRT 情報 | |
| 6. 寄稿「サクラ満開の学会は遠くなった 2015 春学会」 | 相模原市 遠山坦彦 |
| 7. 特集 散策の小径 | |
| 「写真で迎える散策路」 | 川越市 森 克彦 |
| 8. 編集の小窓 | |

《秋季大会へのお誘い》

きまっし！歴史の町、金沢

第43回秋季学術大会 大会長 市川勝弘



日頃は我々にご指導を賜り感謝申し上げます。冒頭いきなり、金沢弁で失礼いたしますが、「きまっし」は「おいで下さい」という意味です。この度、第43回秋季大会の大会長を仰せつかり、平成27年10月8日（木）～10日（土）の会期にて石川県金沢市の金沢市文化ホール（他、近隣2施設使用予定）で開催すべく、実行委員長（金沢大学附属病院放射線部 松浦幸広技師長）ならびに実行委員の皆様と鋭意努力して準備を進めております。皆様もすでにご存じとは思いますが、加賀百万石の城下町として栄えた金沢は、日本三名園の1つの兼六園、金沢

城公園、長町武家屋敷跡など歴史的情緒にあふれ、また加賀能登の豊富な食材は、舌だけでなく見た目も楽しませてくれます。愛知県出身である私も今はこの町の大ファンでありまして、皆様を魅力的なこの町に迎えることができますことを心より喜んでおります。

大会テーマは「All you need is Rad. (Radiology) — 活かし、活きる、放射線技術 —」でありまして、放射線技術科学の進歩をより強く求めようという主旨です。放射線技術の発展には、基礎技術の正確な習得と応用が重要であり、そして応用技術が医療において真に活きることを目指すべきです。真に活かすために、どうすればよいかを大会において議論できればと思います。

本大会では、おかげさまで約500題の演題応募をいただき、その中から口述とポスターを合わせて、約470演題のご発表をいただきます。またポスター演題では、例年と異なり1時間の討論時間を設けるなどして特色を出しております。メイン企画の1つである特別講演では、今までとは大きく趣が異なり、自動車技術業界において数々の世界的業績を上げられた、元本田技術研究所主席研究員の長弘憲一氏をお招きします。技術者リーダーにとって何が求められるか、技術の進歩のためにどんな精神で臨むべきか、貴重な経験談が聞けるものと、すでに多くの方から期待が寄せられています。また大会長企画のシンポジウムとして、「診断画像の画質評価とその有効性」を開催し、定量的画質評価の臨床的有効性を明らかにします。実行委員会企画のシンポジウムでは「放射線技術の匠」をテーマに臨床的に活かされた実績のある開発や研究を紹介していただきます。若手がじっくり学ぶ機会をと考え、フレッシュャーズセミナー「寺子屋 金沢」も設けました。

研究発表と様々な企画によって学会員一同が多くを学び、夜は杯を交わす。そんな楽しくて有意義な学会となることを期待しています。実行委員会一同、皆様のご来場を心よりお待ちしております。



《会員動向》

- ・会員数（平成27年7月31日現在）：100名
- ・新入会員者（平成27年5月1日以降）：4名
 - 真田 茂（石川県金沢市 5月29日付け入会）
 - 水谷 宏（愛媛県松山市 6月1日付け入会）
 - 内山幸男（愛知県名古屋 7月17日付け入会）
 - 川野 誠（愛知県名古屋 7月17日付け入会）

《新入会員紹介》

◇「写真」ならびに「近況」「趣味」の記述内容は入会申込書に記載されたものです。◇

・真田 茂（石川県金沢市）



近況：JSRT 理事会に参加しなくなったことと、北陸新幹線のおかげで、
京都が遠くに、東京が近くに感じられる今日この頃です。

趣味：長らく中断していたテニス、ゴルフを再開しようと考えています。

・水谷 宏（愛媛県松山市）



近況：定年まで、後1年を切っていますが、現職のアンギオが忙しくまた楽しく毎日を過ごしています。毎日の緊急アンギオをいかに行うかと医師や看護師と濃密に議論し対応する事が現在の生きがいです。

趣味：1960年代前後以降のジャズやロックを良く聴いています。
10代のなかば頃からレコードの収集を始め、現在は2,000枚以上のレコードとどれくらいあるか判らないCDに囲まれて暮らしています。

・川野 誠（愛知県名古屋市）



近況：39年+1年間勤務した名古屋市立大学病院を辞して、この4月に鈴鹿医療科学大学保健衛生学部放射線科学科へ特任教授として着任しました。
臨床の現場で活躍できる放射線技師を教育していくつもりです。
よろしくお願いいたします。

趣味：写真（カメラいじり）、釣り・・・今年は8月に富士山登頂をめざします。

・内山幸夫（愛知県名古屋市）

近況：岐阜医療科学大学客員教授、放射線技術学科で教授と偕行会名古屋共立病院画像技術室顧問、放射線治療品質管理室長の仕事、結構忙しく暮らしています。

趣味：コナミスポーツクラブで一人軽く汗をかくことと、美術鑑賞に出かけること、時々、旅行すること、買い物すること、こちらも忙しくしています。

《会からのお知らせ》

・懇親活動関係

①第43回秋季学術大会時にあわせて「2015 能登を巡る旅」を平成27年10月10日から11日

の予定で開催（詳細は第 42 号掲載済）

②第 72 回総会学術大会時にあわせて開催予定の「2016 懇親の夕べ」の内容は次号第 44 号（平成 28 年 1 月 15 日発行）に掲載予定

・会議関係

①運営委員会メール会議を平成 27 年 6 月中旬に行った。

内容：「2016 懇親旅行」の代表幹事に選任された代表幹事の辞退に伴い、新代表幹事選任のためメールによる文書会議を開催し、新代表幹事に石井 勉世話人を選出した。

②平成 27 年度第 2 回世話人会議を平成 27 年 10 月 10 日(土)に金沢市で開催予定。

以上

~~~~~  
《JSRT 情報》

『第 43 回秋季学術大会』 大会テーマ：All you need is Rad. (Radiology)

活かし、活きる、放射線技術

大会長：市川勝弘（金沢大学医薬保健研究域保健学科系）

会 期：平成 27 年 10 月 8 日（木）～10 日（土）

会 場：金沢市文化ホール

『第 72 回総会学術大会』 大会テーマ：「Instructive, Innovative, and Integrative Radiology」

まなび、のびし、つなげる放射線医学

大会長：小倉 明夫（群馬県立県民健康科学大学）

会 期：平成 28 年 4 月 14 日（木）～17 日（日）

会 場：パシフィコ横浜会議センター他  
~~~~~

《寄 稿》

サクラ満開の学会は遠くなった 2015 春学会

相模原市 遠山坦彦



学会総会学術大会の前後はサクラ便りが賑やかな時期である。近くの公園、学校に、工場にも、堀越しに揺れる枝垂れ紅サクラも。2 月末から 4 月にかけて、花のトンネル、花のサンドを楽しみながら私のウォーキングコースは華やかになる。

学会総会学術大会は、サクラ満開の「横浜みなとみらい 21」でという記憶が強く、それは新学期開始を避ける時期に、とされていた故だ。2015 年はサクラ前線に追い越され、華やぎの過ぎた 4 月中旬に開催された。萌黄色の新緑もそれなりの良さもあるが。

学会では被曝に関するプログラムを迫いかけた。DRL : Diagnosis Reference Levels って？う～む。患者被曝防護の原則、最適化＝診断参考レベル。微量被曝の影響について、むかし学んだ、かすむ記憶をたどる。

放射線技術は日々進歩している、と耳にしてきたが無職になると春秋の学会が進歩に触れる機会だ（それでどうする計画もないが）。新しい技術がアタリマエであり、アタリマエの発表会場に座る私の座り心地はよろしくない。機会を逃すと知識が繋がらなくなり、参加する敷居が高くなりそうである。

若い新鮮な頭脳は新技術を吸収するのに苦労は無いのだろう。参加できない多くの会員、放射線技師へのフォローはどうするのだろうか。

今学会に残ったイメージ 三つ

1. 医療被曝管理に関するシンポである。演者の巧みな講演リレーを聴かせてくれ、5人の講演は期待に応える時間であった。時間不足は如何し難く、討論で座長のスパイスを味わう機会を逸したことが残念。シンポの持ち方はいろいろと工夫されているが、何時になっても難しいようである。

2. 薬事法に係るフォーラムである。「薬事法等の一部を改正する法律」が昨年11月から施行された。プログラム医療機器とも称され医療機器に組み込まれているプログラムに係る内容である。規制されるヘルスソフトウェアの扱いと運用に、ユーザー側から疑問点が挙げられ、6人の講演が終わった時点で30分程の討論時間が残された。これは珍しいこと。PACS、HISなどコンピュータにドブプリと浸る放射線部も大きなターゲットだ。規制の解釈が定着するまで注意が必要のようだ。

質問と回答の追加が私の理解を大いに助けてくれ、討論歓迎。しかし、聴いた内容は引出に仕舞われてしまう状況にある。学会誌に掲載されると良いのだが・・・、引出のカギを是非とも手に入れたいので、引き続き学会参加が必要になる。

3. 英語の発表が増えた。スライド一杯に長い英文字が並び、日本語の講演を聴くか英文スライドに眼を凝らせるか中途半端で、私には困った時代に突入した。英語が分るような書き方をしているが実はお手上げである。要点を簡潔に表示して貰えるとメモできそうだ。私を助ける工夫をしてくれないかな～、と考えながらガマンした。

「金は出しても口は出さな」の金言がある。お金は節約しないと生活に支障が生じる私だ。お金はもとより口も手も出せない事態になっている。興味半分以上、無責任な顔だけ出したいと思っているが、嫌われない内に消える方が良いのかな、と考えてもいる。

花だよりに誘われて、上野公園、不忍池も歩いた。人の波、飛び交う謎の言語、上を見、下を見て。艶やかな雰囲気漂わせるサクラをカメラで切り取るのが難しい。2015年春はさくらを追いかけて過ごした感がある。



学会を前にして、強風で散らされた残りのサクラを「横浜みなとみらい21」にも追いかけた。麻薬探査犬とも仲良しに。

もう一度参加したい、サクラの花が舞う学会に。

金沢の秋に出会う景色は・・・行けたらいいな～。 2015.5



《原稿・作品募集》

【第44号特集テーマに対する原稿募集】(1月15日発行予定)

■□■□■□「自分へのご褒美」□■□■□■

今回の特集のテーマを「自分へのご褒美」とさせて戴きます。

自分へのご褒美を決めている方いらっしゃいますか。よく頑張った後とかやらなきゃ行けない事をやり遂げた時、我慢の連続で落ちこぼれそうになった時を乗り越えて先へ行けた時など、ちょっとした贅沢を自分にご褒美など、そして何をご褒美として贈るかなど、会員の投稿をお待ちしています。

特に、特集のテーマにまだ一度も応募されていない会員は、自分自身をアピールする機会ともなりますので応募宜しくお願い致します。勿論、既に複数回応募されている会員の応募も大歓迎です。

記

原稿内容：副題（自由にお付け下さい）

原稿文字数：800字～1200字（400字原稿用紙3枚以内）

写真：ご自身の写真（半身）文字数に含みません。内容に関する写真及び図表は、1枚につき原稿文字数から100文字を減じて下さい。

写真・図表は、デジタルデータ（JPG、PDF、EXL等）を基本としますが、アナログデータも可。

原稿形式：ワード、一太郎、TEX等（ワープロ、手書きも可）

提出期限：平成27年12月15日必着でお願い致します。

送付先：森 克彦 〒350-0064 川越市末広町1-11-22 宛

E-mail：mo-katsu@jt4.so-net.ne.jp mokamokawh@gmail.com

《特集》 散策の小径

写真で辿る散策路

川越市 森 克彦

筆者が好んで散策するコースは、3年ほど前にウォーキングコースとして利用しながら季節の移り変わりを楽しんできた思い出を重ね合わせながら、四季折々の風景と草花を愛でる散策路を紹介してみたいと思います。

筆者の自宅前（地図：スタート）の椿(Photo-01:2005/4/8撮影)を後にして西方向へ、県道15号線まで



約1.5km、15号線を北方向へ約1km（合計：約2.5km）にて、入間川右岸の川越狭山自転車道線（Photo-02:2014/11/30撮影）に合流します。川越狭山自転車道線は、昭和61年3月（1986年3月）に全線が開通した自転車・歩行者専用道路として多くの自転車愛好者・歩行者が利用しております。

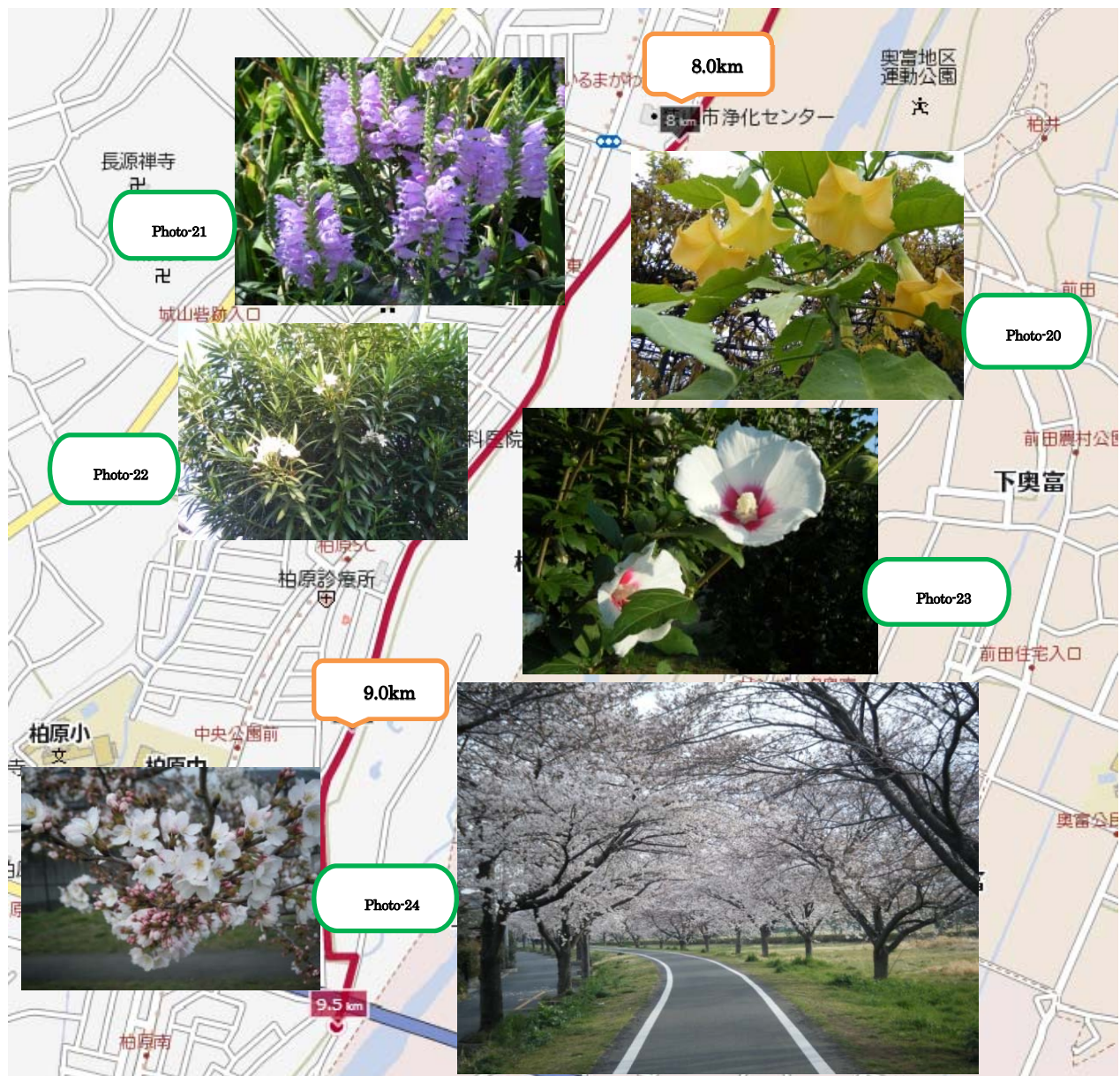
初雁橋の中央地点（スタートから約 2.6km）にて、冬の天気の良い日には、北西方向に冠雪の富士山（Photo-03:2010/12/23 撮影）を眺望することが出来ます。初雁橋を通過し信号を左折して北西方向に進路を



また、公園入り口から 90m 程の左側には、公園内を散策できる遊歩道が設けてあり、自転車の乗り入れも禁止されていますので、子供達も安心して遊ぶことが出来ますし、春・秋には、市の管理による季節の草花を鑑賞することが出来ます。昨年の秋は、黄花秋桜が(Photo-11:2014/9/1 撮影)ガーデン区域を黄色一色に染めていました。自転車道の右側は、自然領域のようでブッシュの中に 8 月から 10 月にかけて、薄紫の藪蘭(Photo-12:2014/9/1 撮影)を鑑賞することが出来ます。藪蘭は、埼玉県の準絶滅危惧種に指定されている植



物で採取は禁止されています。自転車道線に沿って7km 地点まで進むと親水公園の出口につきます。出口には、愛犬家が運動させる施設としてドックラン（大型犬・小型犬用の表示板）（Photo-13:2014/12/1 撮影）があり、土日祝日には、マイカーで連れてきて運動させる愛犬家を横目に、50m 程進むと、川越市・狭山市の市境（Photo-14:2011 年 3 月 10 日撮影）に到着します。川越市側に西武文理大学校舎（Photo-15:2014 年 9 月 19 日撮影）狭山市側に中学校・高等学校校舎（Photo-16:2014 年 9 月 19 日撮影）のとんがり帽子の建物が特徴的です。また、校舎の堤に管理梅林の表示板（Photo-17:2011 年 9 月 10 日撮影）があり 2 月から 3 月にかけて白梅紅梅（Photo-18:2011 年 3 月 10 日撮影）の花が楽しめます。中学・高等学校のアベリアの垣根は、春から秋にかけて仄かな香りを楽しむことができます。校舎を過ぎて 80m 程進むと入間川大橋（Photo-19:2014 年 12 月 1 日撮影）の下を通過して、右側に地元の人が植えている季節の花木（エンジェル・トランペット：Photo-20:2014 年 11 月 30 日撮影、花虎の尾：Photo-21:2011 年 9 月 7 日撮影）を楽しむ事が出来ます。



さらに 50m 程進むと、夾竹桃（Photo-22:2011 年 7 月 16 日撮影）木槿（Photo-23:2011 年 7 月 16 日撮影）など季節毎に楽しむことができます。さらに 20m 程進むと自転車道線の両側に染井吉野の桜並木が 1km に渡り植林されており、3 月末から 4 月上旬に満開となり楽しむことができます。筆者は、桜の満開時期に散策して桜のトンネル（Photo-24:2011 年 4 月 8 日撮影）を 5 年間程散策して、春の訪れを感じています。

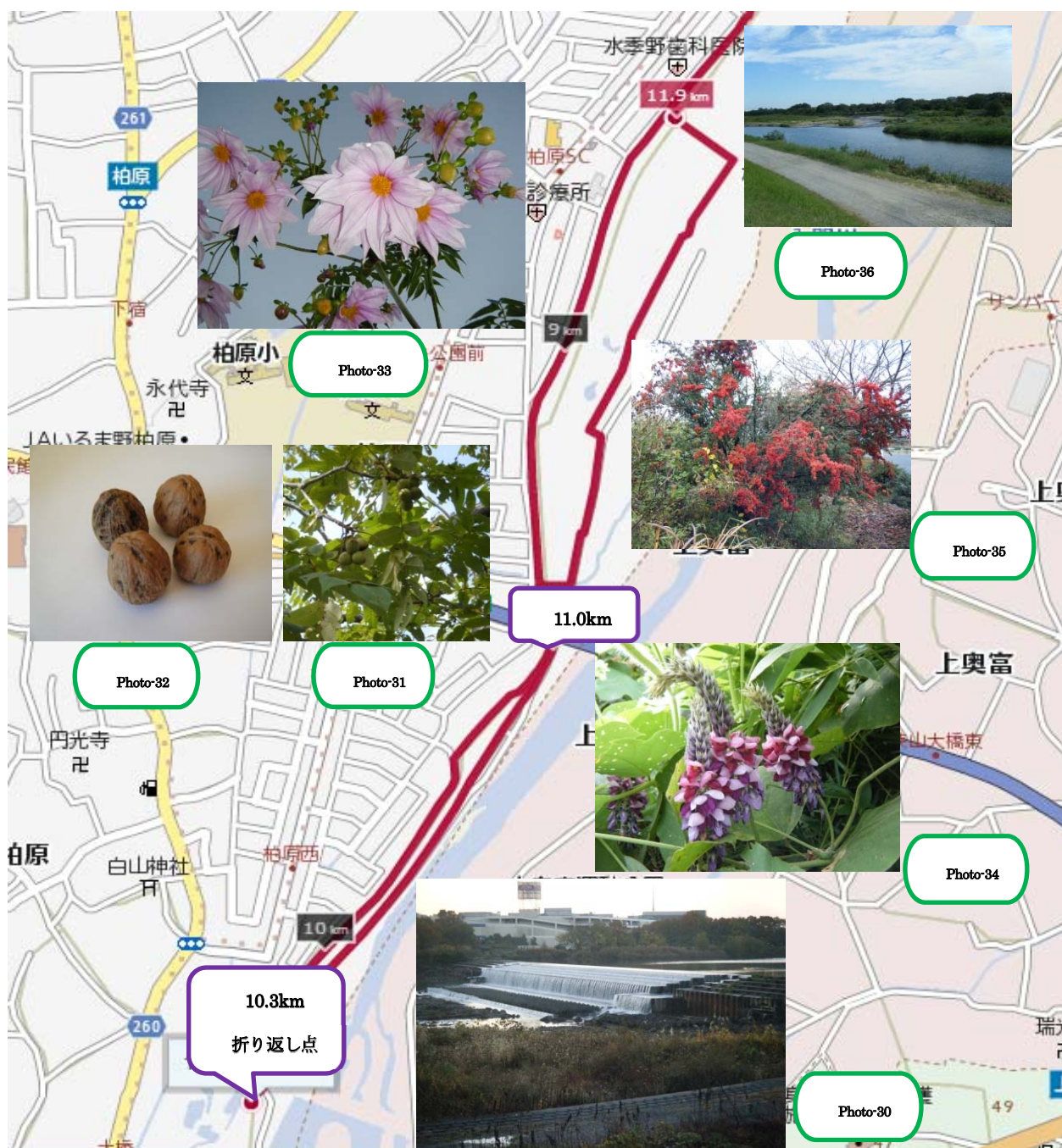
桜のトンネルを越えるとスタートから粗 8km 過ぎを左折して 5m 程先の桃の花が春を伝える (Photo-25:2011 年 4 月 8 日撮影) かのように迎えてくれます。桃の花を見ながら右折すると狭山大橋 (Photo-26:2014 年 12 月 1 日撮影) が見えてきます。左側の道路は、河川管理用道路で復路に使用します。狭山大橋を通過すると 10m 程の登りとなります。右の堤には桜の木が植樹されておりますが、10m 間隔の

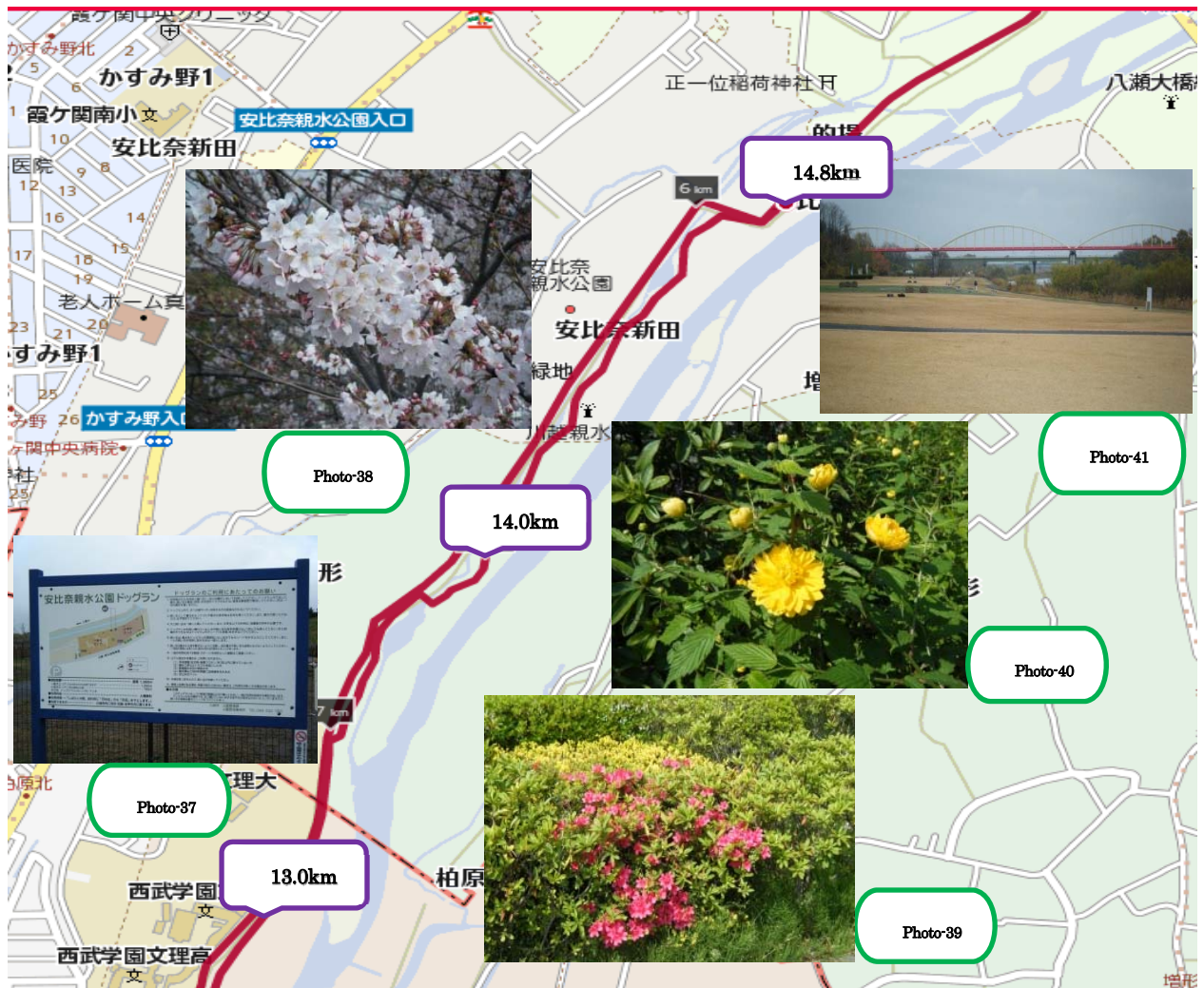


ようです。

右側は、管理用道路より 3m 程高くなっており、胡桃の木や雑木・つる性植物などが生い茂っております。スタートから 9.5km 地点より東を正面にして、初日の出を撮影したのが 2011 年 1 月 1 日 (Photo-27:午前 6 時 58 分、Photo-28:午前 6 時 59 分、Photo-29:午前 7 時 02 分) 撮影の初日の出に手を合わせて武運長久を祈りました。しかしながら、2012・2013・2014・2015 年の 1 月 1 日は、薄雲の中に幽かに初日が見える程度でしたので、写真に収めることは出来ませんでしたので、2016 年 1 月 1 日に再度挑戦したいと考えます。

9.5km を通過し左折して、20m 程で折り返し点を廻り、往路を 10m 程引き返し右側の管理道路（復路）へと進むと入間川の堰き (Photo-30:2014 年 11 月 30 日撮影) を右に見ながら進むと左側の自転車道線が 3m 程の高さの土手に雑木と一緒に胡桃の木 (Photo-31:2014 年 9 月 19 日撮影) が実をつけているのを見ることが出来ます。また、4 年前にこの場所で胡桃の実 4 個 (Photo-32:2011 年 11 月 30 日採取写真) を家に持ち帰り皮を取り水洗、乾燥して保存してありますが、片手に 2 個ずつ持ってカチカチと鳴らしながら遊んだ子供の頃を思い出します。折り返してから 800m 程の自転車道線と管理道路土手の中間に皇帝ダリア (Photo-33:2014 年 11 月 30 日撮影) を見ることが出来ます。皇帝ダリアは 3~4m 程に成長してピンクの花をつけて晩秋の風景を彩っていました。さらに進んでいくと狭山大橋に戻ってきますので真っ直ぐに管理道路を進むと右手のブッシュに葛の蔓と葉の中にピンクと白の混じった葛の花 (Photo-34:2011 年 9 月 9 日撮影) を観賞しながら進んでいきます。スタートから 11.7km の河川敷には、上奥富運動公園 (4 面のサッカー場) が有り、公園入り口の土手にピラカンサの木 (Photo-35:2014 年 12 月 1 日撮影) に赤い実を付けているのを勧賞することが出来ます。管理道路から自転車道線に合流する手前 (左側先が安比奈親水公園です) の入間川の風景

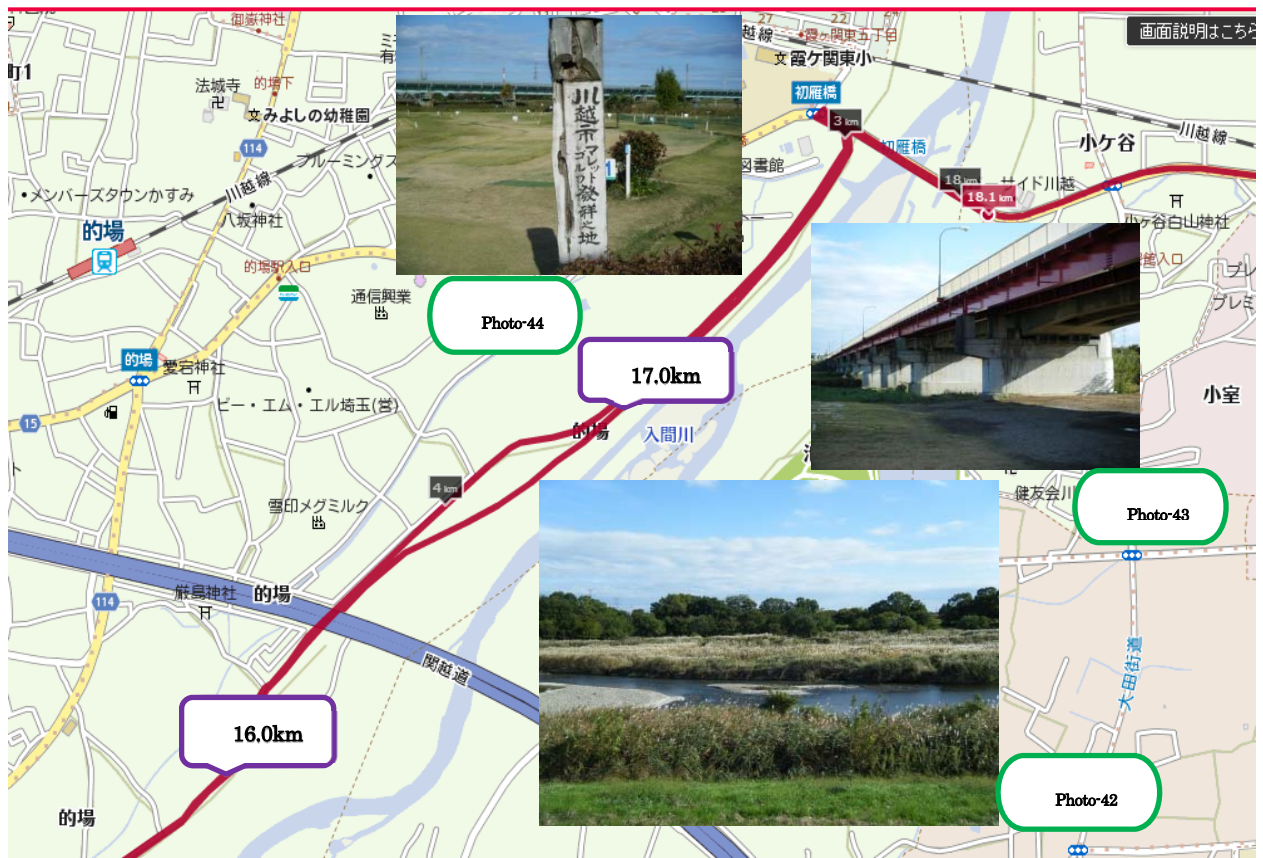




(Photo-36:2014年9月19日撮影)です。合流して20m程、進むみドックラン(Photo-37:2014年9月19日撮影)を右折して、安比奈親水公園遊歩道(1kmの行程)を散策すると、針葉樹は勿論、染井吉野(Photo-38:2014年9月19日撮影)・躑躅(Photo-39:2014年9月19日撮影)・山吹(Photo-40:2014年9月19日撮影)等の多くの植物が季節毎に楽しめます。公園出口中央に立つと正面に赤い水道管橋(荒川水系からの給水管:Photo-41:2014年9月19日撮影)が廻りの緑・黄のコントラストが落ち着いた景観を醸し出しております。さらに歩を進めると16.7km地点で右階段を上り(往路4.2km地点)管理道路を100m程進み後方を振り返ると北西方向に往路で見た冠雪の富士山が見えますが、筆者は、勝手に見返りの富士と名付けて景観を楽しんでおります。この場所は、土日祝日の晴天の日には多くのアマチュアカメラマンが三脚を並べて写真撮影の光景が見られます。管理道路をさらに1.3km程進み河原に5.0m程下ると入間川の流れて尾花が晩秋から冬季の間近なことを感じさせる一瞬です。(Photo-42:2014年9月19日撮影)

郷愁を思い起こしつつ、管理道路に戻り、200m程で初雁橋(Photo-43:2014年9月19日撮影)の下を潜ると、河川敷にマレットゴルフ発祥の地表示板(Photo-44:2014年9月19日撮影)とゴルフ場が見えてきます。マレットゴルフは、平日・祝日を問わずシニア会員が多いためか何時も盛況です。しかしながら、平成22年10月30日から31日にかけての台風14号の影響をまろに受けて河川敷は、水没したため、このゴルフ場も大きな被害を受けましたが、さすがにシニア会員が多いと見えて、次の日には多くのシニア会員で復旧・整備を行って10日程度で粗基のゴルフ場に復旧したようです。

ゴルフ場の右側の土手階段を上り、初雁橋へと戻り残りの2.7kmを散策しながらゴールを目指します。初雁橋を通過すると住宅街の道路を進んで行と彼方こちらの庭先に春から夏にかけてゼフィランサス(Photo-45:2013年8月19日撮影)の白い花や冬から春の赤い山茶花(Photo-46:2013年12月15日撮影)が疲れを癒やしてくれます。筆者の花壇にも白いゼフィランサスが咲きましたが昨年は、ピンクのゼフィラン

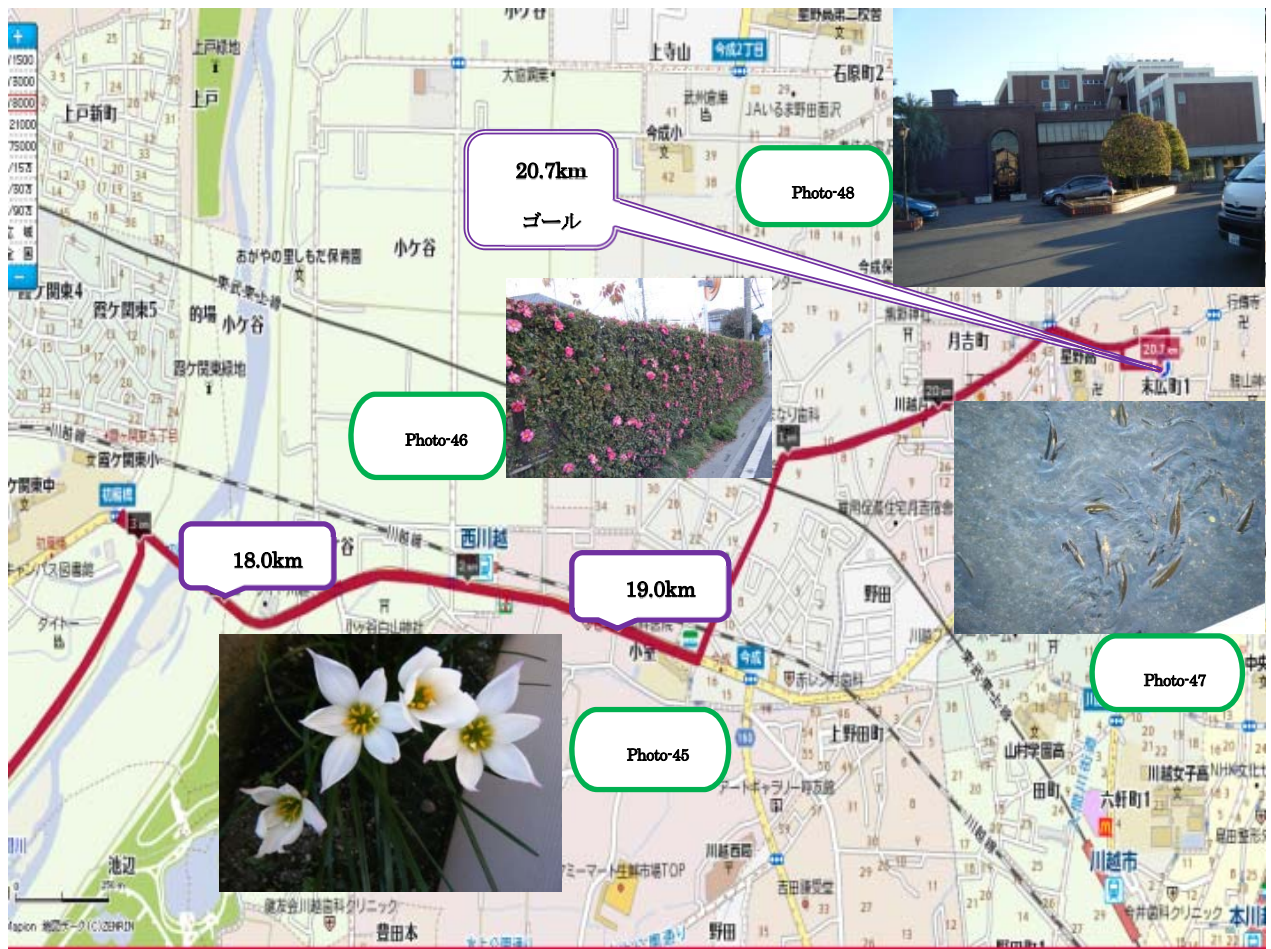


サスを植えましたが、咲きませんでしたので、今年が楽しみです。県道 15 号線を 1.5km 程市内へと向かい T 字路を左折して道なりに 1.1km 程進むと新河岸川に架かるお茶屋橋から眺めると、川の流れは穏やかで観賞用の鯉が多数 (Photo-47:2014 年 12 月 10 日撮影) 泳いでいるのが見られます。お茶屋橋を越えると右側に星野高等学校校舎 (Photo-48:2014 年 9 月 19 日撮影) が見えてきます。10 年ほど前までは、星野女子高等学校の名称でしたが、少子化の影響でしょうか、現在は男女共学校ようですが、男子生徒はほとんど見受けられません。学校の前を過ぎると 80m 程の坂を上がるとまもなくゴールです。

出迎えの花は「もみじあおい」 (Photo-49:2014 年 9 月 19 日撮影) としました。



Photo-49



今回の散策は、ウォーキングコースを中心に散策してみました。20.7kmの散策に費やす時間は5時間程度が必要です。まだまだ、多くの散策風景を紹介したいのですが、次の機会に譲りたいと考えます。また、入間川遊歩道（豊水橋から飯能市の阿須グラウンドまでの延長5.5km・幅員1.2～2.0m）が2014年7月31日に完成しましたので、近いうちに散策しようと考えております。

なお、地図は、グーグルマップを利用しました。

~~~~~

### 《編集の小窓》

今年の梅雨は経験したことのない豪雨に見舞われ、梅雨が明けると今度は猛暑、酷暑に襲われ心身ともに変化の多い経験をしました。これも地球温暖化が影響していると言われています。予報ではエルニーニョ現象のため今年の夏は冷夏になると予想されていましたが全くの外れでした。私の子供の頃は、これから地球は氷河期に入ると予想する科学者もいて不安な気持ちを持ったことを思い出します。確かに子供の頃の冬は雪も多く寒さも厳しかった記憶があります。そして今の夏がこんなに暑いなんて。その暑い夏にこの情報誌を編集しお届け出来たことに自分にご褒美をあげたいと思っています。10月に金沢でお目にかかれることを楽しみにしています。

石井 勉・記



### FAR 情報誌 No.43（非売品）

発行日 平成27年9月15日

発行者 山田勝彦

編集委員会 森 克彦（委員長）

石井 勉 橋本廣信

山田和美

森：連絡先 Tel&Fax. 049-225-2619

Email:mokamokawh@gmail.com